



2022年4月からの自費価格



生殖補助医療(ART)

(1) 排卵誘発剤 30,000円～100,000円

(2) 超音波、ホルモン検査 20,000円～30,000円

(3) 採卵術 35,200円 (0個のとき)
(麻酔は含まれていない)

さらに取れた卵子の数に応じて下記が加算

1個 26,400円 (合計61,600円)

2～5個 39,600円 (74,800円)

6～9個 60,500円 (95,700円)

10個以上 79,200円 (114,400円)

(4) 受精

・体外受精 46,200円 (一定)

・顕微授精 (ICSI)

1個 52,800円

2～5個 74,800円

6～9個 110,000円

10個以上 140,800円

※SPLIT(両方実施)の場合は顕微授精代+加算分23,100円

(5) 受精卵培養

受精した個数に応じて変動

1個 49,500円

2～5個 66,000円

6～9個 92,400円

10個以上 115,500円

※先進医療：タイムラプス培養 28,000円

(6) 胚盤胞培養

胚盤胞培養へ移行した数に応じて変動

1個 16,500円

2～5個 22,000円

6～9個 27,500円

10個以上 33,000円

(7) 胚凍結

凍結した胚の数に応じて変動

1個 55,000円

2～5個 77,000円

6～9個 112,200円

10個以上 143,000円

(8) 胚凍結更新

1個 35,000円

2～5個 70,000円

6～9個 102,000円

(9) 胚移植

・新鮮胚移植 82,500円
(AHA/HA込み：104,500円)

・凍結胚移植 132,000円
(AHA/HA込み：154,000円)

※AHA(アシステッドハッチング) 11,000円
※HA(高濃度ヒアルロン酸含有培養液) 11,000円

※先進医療：SEET法 23,000円

子宮内膜受容能検査(ERA) 102,000円